



地藏盆



地藏盆は京都生まれで、近畿地方の行事として古くから行われてきました。また、北陸地方や新潟、信州では長野市周辺で盛んに行われていますが、東海や関東には、ほとんどないそうです。

地藏盆の言われ

地藏盆とは、子どもの守り佛として古くから信仰されていました。お地藏さんは民間の信仰の神様でしたが、仏教に属する地藏菩薩であったようです。この地藏菩薩はお釈迦様が入滅してから未来仏の弥勒菩薩がこの世に現れるまで、人間界のみにあらず地獄・飢餓・修羅・畜生・天といった六道すべてに赴き、人々を救済しました。

平安時代以降に阿弥陀信仰と結びつき、地藏信仰が民間に広がり、道祖神と同じように村を守る役割も果たすようになります。そして、地獄の鬼から子供を救うとして子供の守護神ともなり、現在にいたっています。



子供の成長や幸福を願う地藏盆の背景には地藏菩薩のこんな物語があります。

親より先に亡くなった子供達が、三途の川の河原で、両親や兄弟たちを懐かしみ石の塔を築くと、鬼がやってきてそれを壊してしまいます。

それを哀れんだ地藏菩薩が、子供たちを抱いて錫杖（しゃくじょう）の柄に取り付けさせ、自分が子供たちの親となって救うことを誓いました。



そこから全国に地藏菩薩が広がり、それぞれの道端にも石地藏が見られるようになったのです。しかし地藏盆のように盛大にお祭りするところはおもに関西周辺に限られています。

子どもが主役の地藏盆

地藏盆の主役は、子どもたちです。京都では、町内ごとの地藏尊の前に屋台を組んで花や餅などの供物をそなえ、お菓子を食べながらゲームなどの遊び、福引きなどが行われます。

地藏盆では、子どもたちだけで地区にある小さな地藏を洗い、思い思いにお化粧をする伝統が今も残されています。また数珠繰り（じゅずくり）や数珠回し、とって玉が大きくて長い数珠を子供達みんなで回す儀式をします。その時に大人もその輪の中に入り、自分たちも経験した思い出を胸に子どもたちと一緒に数珠を回します。



当院の地藏盆行事食

【常食献立】

- ・バラ寿司
- ・茶碗蒸し
- ・きゅうりとくらげの梅肉あえ
- ・水羊羹



患者様からの御感想

- ・夕食が届き、部屋の皆さんと驚きました。世間では地藏盆ですね。日本の古き歴史もだんだん減っている今日、私達に心温まるもてなしをしていただき感謝致します。今は亡き父母が幼い頃、家族みんなが集う時、手料理を作ってくれた事を思い浮かべながら一口一口頂きました。
- ・今日は大変ごちそうさまでした。病院でこんなもてなして頂き本当に有難うございました。
- ・盆の行事先祖供養も送り子供の頃お地藏参りを思い返し、今夜はごちそう（散らし寿司・茶碗蒸し・お菓子）を添えてくださり感謝していただきました。有難うございました。
- ・病院食のおかげで血圧まで下げて頂きました。毎日美味しく完食させてもらっていますが・・・早く退院したい・・・

食事を通して、楽しかった頃を思い出していただけて幸いです。

平成 27 年 8 月 丹後中央病院 栄養科